

令和7年6月9日

滝沢市議会議長 角掛 邦彦 様

滝沢市議会議員 菅野 福雄

政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和7年5月15日（木） から 令和7年5月16日（金） まで

2 活動場所

明治大学アカデミーコモン棟3階アカデミーホール  
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

3 活動内容

別紙のとおり

# 政務活動シート

調査主体:菅野福雄

調査項目名称	調査研究(視察含む)・ <b>研修</b> ・要請陳情等
活動の理由 及び その目的	日本自治創造学会研究大会は「市民的視野に立ち、学術と実践の知的交流を通じて日本の再生、地方自治の創造をめざそうとするものであり、特に地方議会の議員を中心に、自治体の首長、職員、市民、研究者を加えて地域に根差した実践的な研究及び会員相互の交流を通じて地域主権国家にふさわしい自立・自立的な地方政治を創造することを目的としています」との命題があります。よって議員としての知識を高め、一般質問等の議員活動に活用するため自治にかかわる専門家の講演会を受講するものです。
活動概要	<ul style="list-style-type: none"><li>●実施日 令和7年5月15日(木)～令和7年5月16日(金)</li><li>●場所 明治大学アカデミーコモン棟3階アカデミーホール 〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1</li><li>●内容 (1)後房雄(名古屋大学名誉教授)地方自治における政治の復権 (2)飯尾潤(政策研究大学院大学教授)日本の統治構造 (3)井倉義伸(JICA理事長特別補佐)地域との連携による様々な創生事業の実践と活用方法について (4)金井利之(東京大学大学院法学政治学研究科教授)地方自治のあり方を問う (5)安野貴博(AIエンジニア、起業家、SF作家)AI時代の双方向コミュニケーション選挙戦略 (6)安野修右(日本大学法学部准教授)ネット選挙に対応する (7)砂原庸介(神戸大学大学院法学研究科教授)領域を超えない民主主義 (8)浅野大介(石川県副知事)高齢社会における大災害への対応と課題</li></ul>
活動成果	<ul style="list-style-type: none"><li>●特記事項 (3) JICAの活動は開発途上国への技術協力や無償資金協力のほか、国内でも地域おこし協力隊を自治体に派遣するなど幅広い活動が行われています。秋田県五城目町ではJICAと協定を結び、JICAの海外協力隊派遣予定者が対象のグローバルプログラムと総務省の地域おこし協力隊インターン制度を連携させ、町の活性化や多文化共生社会の実現を目指している取組が先進的でした。 (8) 令和6年9月の奥能登の豪雨によって、特に高齢者施設への影響が深刻でした。地震で休止していた施設も 多く、その復旧が進む中で新たな豪雨災害が発生しました。特に仮設住宅での浸水被害も多く、災害リスクが高い場所での建設が余儀なくされている実態が浮き彫りになっています。このような複数災害はいつ、どこでも発生する可能性があります、「最大被害を想定した避難訓練が必要と言われているが、実際その規模を想定した避難訓練は難しい」と言及されていました。</li><li>●所感等 日本自治創造学会理事長穂坂邦夫氏は「我が国の様々な課題を解決するために政治がリーダーシップを発揮し、真正面から抜本的改革に取り組むことが求められている」と言及していますが、政治家がリーダーシップを発揮し抜本的改革に取り組むには常日頃の研鑽が必要と再認識しました。金井利之東京大学大学院教授をはじめとする8人の専門家の講演会は難しい内容の部分もありましたがこの研修会を機になお一層研鑽に努めたいと思います。この研修会は、本市の問題解決を見据えた具体的提案に向けて大変参考になりました。</li></ul>

## 研 修 行 程 表

年 月 日	時 刻	行 程
令和7年5月15日 (木)	9:50~12:08  12:22 12:30  13:00~17:45	盛岡駅⇒東京駅 (はやぶさ 12号)  東京駅⇒御茶ノ水駅 (中央線) 会場着  <b>【研修】</b> 明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール (東京都千代田区神田駿河台1-1) 「第17回 日本自治創造学会 研究大会」  <b>【宿泊】</b> ヴィアイン飯田橋後楽園 (新宿区新小川町4番11号)
令和7年5月16日 (金)	9:00  10:00~15:05  18:20~20:33	ホテル発  <b>【研修】</b> 明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール (東京都千代田区神田駿河台1-1) 「第17回 日本自治創造学会 研究大会」  御茶ノ水駅⇒東京駅 (中央線)  東京駅⇒盛岡駅 (はやぶさ 37号)

令和7年9月22日

滝沢市議会議長 角掛 邦彦 様

滝沢市議会議員 菅野 福雄

政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和7年8月27日（水） から 令和7年8月28日（木） まで

2 活動場所

名称：札幌文化芸術劇場 hitaru

住所：札幌市中央区北1条西1丁目札幌市民交流プラザ4F

3 活動内容

別紙のとおり

# 政務活動シート

調査主体:菅野 福雄

調査項目名称	調査研究(視察含む)・ <b>研修</b> ・要請陳情等
活動の理由 及び その目的	地方議会・議員に対する無関心や不信感が全国的に広がる現況があり、選挙では投票率の低下、無投票当選者や定員割れが顕著に増加しています。このような中、「地方議会議員のなり手不足問題解決に向けて」と題して全国市議会議長会研究フォーラムが開催されました。本市でも投票率の低下などの課題があり、その課題解決に向けて、滝沢市議会議員として研鑽を積むため本研修を受講しました。
活動概要	<ul style="list-style-type: none"><li>●実施日 令和7年8月27日(水)～28日(木)</li><li>●場所 札幌文化芸術劇場hitaru 住所:札幌市中央区北1条西1丁目札幌市市民交流プラザ4F</li><li>●内容 1日目 【基調講演】 「主権を預かる誇りと責任」 伊吹文明氏(元衆議院議長) 【パネルディスカッション】 「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える」 コーディネーター:辻陽氏(近畿大学法学部教授) パネリスト:牧原出氏(東京大学教授) 白石洋一氏(読売新聞東京本社政治部次長) 山下節子氏(山口県宇部市議会議長) 長内直也氏(北海道札幌市議会議長)</li><li>2日目 【課題討議】 「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」 コーディネーター:牧瀬稔氏(関東学院大学法学部地域創生学科教授) 事例報告者:今井康善氏(長野県岡谷市議会前議長) 平神純子氏(鹿児島県南さつま市議会議員) 中野進氏(石川県白山市議会議長)</li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>●特記事項 1日目:【基調講演】 ・伊吹文明氏の基調講演では「議員は市民から主権を預かる重要な存在であり、誇りと責任をもって臨むべきである。」などと言及されました。 【パネルディスカッション】※それぞれ下記のように言及されました。 ・コーディネーター辻氏「議員のなり手不足の問題では、地方議会・議員に対する無関心、もしくは不信につながる現況から、地方議員選挙における投票率の低下があり、ここ数回の統一地方選挙では、無投票当選者や定員割れが顕著に増加している実態がある。議員の多様性や住民代表性の確保、若者や女性、会社員などが立候補しやすい環境の整備が必要である。」 ・牧原氏「地方自治は重要だが全てを市町村でこなせなくなっている。」 ・白石氏「ある女性都議は子育ての世代を代弁できるのは大きなやりがいがあるが、わが子としっかりふれあえないのはつらいと言っている。」 ・山下氏「地方議会議員には資質・能力・意欲とも高いものが求められ、志の高い優秀な人材が市議会議員になってくれるよう、環境整備を進めていくことが急務である。」 ・長内氏「主権者教育の一環で夏休みの自由研究に議場見学を設定し、教育</li></ul>

活動成果

委員会を通じて、市内の全小中学校にチラシをデータで送付し周知した。」

2日目:【課題討議】

・コーディネーターの牧瀬氏の①地方議会のなり手不足問題への具体的な取組内容、②取組の成果と課題、③解決に向けた地方議会への提言を論点として3人から事例報告がありました。

・今井氏は「令和5年の市議会議員選挙で岡谷市が全国唯一の定数割れを起こして無投票となり、ここから岡谷市議会の挑戦が始まった。議会情報のオープン化や住民の議会への参加などを重点項目とし、SNSを活用した広報活動の強化や広聴機能の充実図り、議場を開放して議場コンサートなどを開催した。次期統一地方選挙では定数を18人から16人に削減する条例改正案を可決した。」と報告されました。

・平神氏は「鹿児島県内の女性議員を100人にする会を立ち上げた。人口の半分は女性であることから、男女平等の議会に向けて女性議員100人を目指し、女性ゼロ議会を無くすことをモットーに“社会は女性を待っている、議員に挑戦しませんか、あなたの決断を応援します”などと書かれたチラシを作り、2025年4月に100人の女性議員誕生を達成した。日本は世界的に女性議員が少なく、女性の声が反映されにくい状況が続いており、女性議員の増加が必要不可欠である。」と言及されました。

・中野氏は「令和3年の選挙で告示2週間前でも定数より2人少ない出馬表明に驚いたが、そのあと出馬があり選挙戦となった。しかし、投票率が前回選挙よりもマイナス7.48%だったことから、議員のなり手不足に対する危機が顕在化したため「未来へつなぐ議員の在り方検証委員会」を設置し、白山市の未来へつなぐシンポジウムなどを開催し、アンケート調査で高校生、大学生から感想をいただき、市民との意見交換会を行った。議員が立候補しやすい環境の改善のため政治倫理条例の一部改正を行い、議会の見える化などに取り組んでいる。」と言及されました。

●所感等

人口減少の加速化や超高齢化の進展などにより、議員のなり手不足が多く市の広がることが危惧されており、多様な人材を市議会への参画に促す対策は必要不可欠であります。この研修会では議員に立候補しない理由なども示され、無投票を回避するための取組事例なども話されており、これからの議会活動において議員のなり手不足問題が喫緊の課題であることを認識しました。

## 研 修 行 程 表

年 月 日	時 刻	行 程
令和 7 年 8 月 26 日 (火)	11 : 35 13 : 45	花巻空港⇒新千歳空港 新千歳空港⇒札幌駅 (JR 北海道)  <b>【宿泊】※前泊</b> ヴィアインプライム札幌大通 (ホテル) 住所：札幌市中央区南 3 条西 2 丁目 10 番地 1
令和 7 年 8 月 27 日 (水)	11:00  13:00～17:00  18:00	ホテル発  <b>【研修】</b> 「全国市議会議長会研究フォーラム」 札幌文化芸術劇場 hitaru 住所：札幌市中央区北 1 条西 1 丁目  <b>【意見交換会】</b> 札幌パークホテル 住所：札幌市中央区南 10 条西 3 丁目 1 番 1 号  <b>【宿泊】</b> ヴィアインプライム札幌大通 (ホテル) 住所：札幌市中央区南 3 条西 2 丁目 10 番地 1
令和 7 年 8 月 28 日 (木)	8:00  9:00～11:00  14:30 16:25	ホテル発  <b>【研修】</b> 「全国市議会議長会研究フォーラム」 札幌文化芸術劇場 hitaru 住所：札幌市中央区北 1 条西 1 丁目  札幌駅⇒新千歳空港 (JR 北海道) 新千歳空港⇒花巻空港

令和 8 年 2 月 2 4 日

滝沢市議会議長 角掛 邦彦 様

滝沢市議会議員 菅野 福雄

政務活動（調査研究・~~研修~~・~~要請陳情等~~）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第 9 条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究・~~研修~~・~~要請陳情等~~）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和 8 年 2 月 1 0 日（火）

2 活動場所

天童市立天童中部小学校

山形県天童市老野森 2 丁目 6 - 4

3 活動内容

別紙のとおり

# 政務活動シート

調査主体:菅野 福雄

調査項目名称	調査研究(視察含む) ・ 研修 ・ 要請陳情等
活動の理由 及び その目的	山形県天童市立天童中部小学校では、不登校対策として「子ども主体の学校」への改革を進め、子ども一人ひとりの多様性を尊重した教育活動を展開しています。具体的には、子どもが自ら学び方や内容を決める「自由進度学習」や「フリースタイルプロジェクト」といった学習形態を取り入れており、現在は不登校児童はいません。天童中部小学校を視察し調査研究することにより、議員として本市の小中学校の不登校対策に役立てようとするものです。
活動概要	<ul style="list-style-type: none"><li>●実施日 令和8年2月10日(火)</li> <li>●場所 天童市立天童中部小学校 山形県天童市老野森2丁目6-4</li> <li>●内容 不登校対策の取組について</li></ul>
活動成果	<ul style="list-style-type: none"><li>●特記事項 天童中部小学校では、子どもが学び方を選択できる授業を取り入れ、興味のあることを自由に学べる時間を設けるなど、授業の工夫が行われています。通常の授業は全体の約8割を占めますが、仲間と教師が創る「自学・自習」「マイプラン学習」「フリースタイルプロジェクト」は授業全体の2割程度を占め、自由度が高い学習です。 マイプラン学習は子ども自身が学び方、時間、ペースを決める授業スタイルですが、フリースタイルプロジェクトは学習内容も子ども自身が決め、興味・関心に基づいたテーマで学びを進めています。 ICTも積極的に活用し、教師も共に学習に取り組む姿が見られました。</li><li>●所感 フリースタイルプロジェクトは、通常、先生のいる机には司会役2人、書記役2人がおり、子どもが進行役を務める授業で、回答を出す子ども、手を挙げる子どもを仕切っていました。先生は後ろ側の席で子どもたちの授業を見ながら、質問等があればその都度答えていました。大半の子どもは自分で勝手に勉強しており、一見騒がしく感じられましたが、主体性を持つことに重点的に取り組んでいるとのことでした。 全校生徒650人であり、親しみを持つために教室ごとに47都道府県の名前がついていることが特徴的でした。多くの子どもたちが生き生きとした目をしていて、グループの一人に質問した際「楽しく集中して勉強できる」と答えてくれました。 このように、天童市立天童中部小学校は、子どもの主体性を重視した学校改革を通じて不登校対策に取り組み、不登校児童を0としています。本市も形式的な授業を進めることも大事ですが、不登校児童を一人でも無くすためにも現場の教師、教育委員会の視察・調査研修を行うべきと考えます。</li></ul>

## 研 修 行 程 表

### ○実施日

令和8年2月9日（月）～令和8年2月10日（火）

### ○令和8年2月9日（月）

8：50 盛岡発 ----- 9：29 仙台着  
はやぶさ10号

10：16 仙台発 ----- 11：33 羽前千歳着

11：34 羽前千歳発 ----- 11：46 天童着

### 【宿泊】※前泊

ホテルパールシティ天童

（山形県天童市東本町2-9-23）

### ○令和8年2月10日（火）

10：00 ～ 14：00

天童市立天童中部小学校視察

16：07 天童発 ----- 16：20 羽前千歳着

16：21 羽前千歳発 ----- 17：50 仙台着

18：54 仙台発 ----- 19：33 盛岡着  
はやぶさ35号